

## 北区 土地家屋調査士の仕事体験

県土地家屋調査士会は5日、浜松市北区の県立浜松工業高で出前授業を行った。建築科の3年生約40人が機器を使った測量を体験し、不動産の測量や登記申請手続きを代行する土地家屋調査士の仕事に親しんだ。

生徒は4グループに分かれ、基準地点からの



距離と角度で土地面積を測る機器「トータルステーション」の操作に挑戦した＝写真＝。衛星利用測位システム(GPS)の受信機を使って校庭から埋設物を見つけ出す作業にも取り組んだ。

高校卒業後の進路選択の参考にしてもらおうと、同会が年に数回開いている。同会の桑原淳常任理事は「生徒には他の人になんない自分の強み

を見つけてほしい」と話した。